

JIS A 5917 衝撃緩和型畳床

日常的な動作時の硬さ試験



一般財団法人

日本建築総合試験所

畳床上において、歩く・座る・寝転がるといった動作時に身体で感じる硬さを調べます。

衝撃緩和型畳床とは

高齢者や歩行困難者、子ども、さらには介護者などの日常の安全性や快適性向上を意図し、衝撃を吸収しやすい構造で製造した畳床です。

試験方法

質量 40kg のおもりを落下させ、荷重板を介して試験体に荷重をかけた際に、試験体の変形量が最大に達するまでの変形エネルギーやその後の復元量と復元時間を求め、日常的な動作時の硬さを算出します。

試験の状況を写真-1 に、試験装置の概要を図-1 に示します。

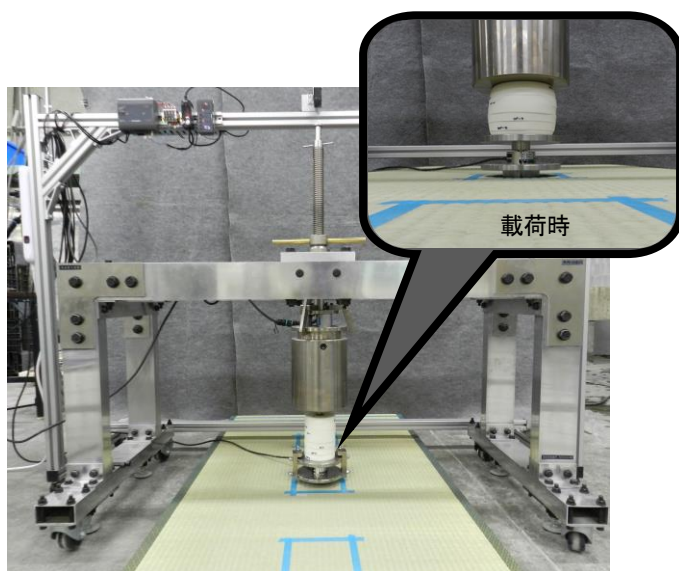


写真-1 試験の状況

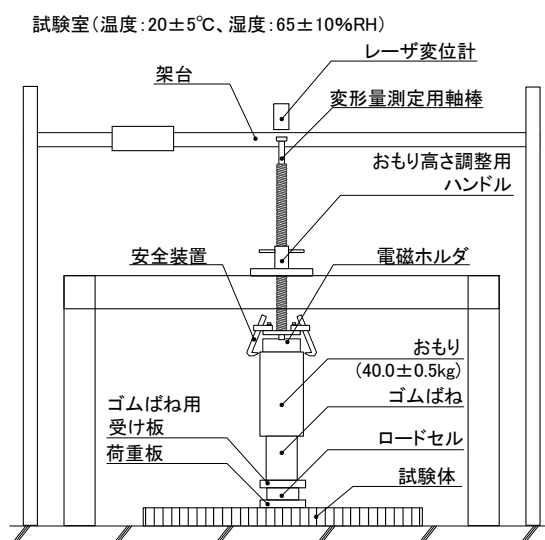


図-1 試験装置の概要

性能

当該 JIS が定める衝撃緩和畳床に対しては、日常的な動作時における足腰への負担や、障害の起こりにくさに対する要求を満足することが求められます。

試験は畳 1 枚につき 3 か所で行い、その平均値を日常的な動作時の硬さとし、下記の範囲を満足する必要があります。

性能 … 0.8 以上 1.3 以下

その他

(一財)ベタリービングが定める自由提案型優良住宅部品認定基準の一つとして「衝撃緩和型畳」が制定されており、当該 JIS を満足することが求められています。

【関連規格】

JIS A 5917「衝撃緩和型畳床」

(一財)ベタリービング「自由提案型優良住宅部品認定基準 衝撃緩和型畳床」